

移転分科会検討内容

1. 移転先の検証

基本条件①

・学校規模は児童数290人、必要な機能は普通学級12、特別支援学級2、少人数教室2、その他特別教室、事務室等の他、体育館(大小)、プール、校庭とする

基本条件②

・現在の岡谷小学校と同じ教育活動を展開するために必要な学校敷地面積 13,500㎡

基本条件③

・移転先は、現有の公共用地で検証
(用地買収、造成による敷地拡張は考慮しない)

中央町駐車場
(約7,800㎡)

駅南用地
(約7,100㎡)

成田公園
(約7,100㎡)

※分科会の中で検討に加える

比較検討資料

基本条件④

・校舎の高層化(5~6階)、建物内への体育館、プールの配置等により、現有敷地内に必要な機能を収める

比較検討資料 ②

基本条件③

・面積不足を解消するため、周辺民地の買収または敷地造成を含めた検証

2. 移転後の現在地の跡地利用

【現在の岡谷小の良さ】

- ・緑に包まれた自然環境
- ・のぼり窯
- ・アスレチック
- ・140年の伝統と歴史

移転を考える上で、移転後の跡地をどのように活かすかは大切な議論

【分科会まとめ】

- ・必要な安全対策を施した上で、跡地は自然学習ができる場所として位置づけ、充実していくことも大切
- ・のぼり窯などの伝統を残し、市内の全小学校が利用できるような場所になればいい
- ・魅力ある教育環境の充実を図るために、まちづくり全体として捉えて教育の向上につなげて欲しい